

資源有効利用促進法に基づく自主回収及び再資源化の各事業者等による実施状況の公表について

資源有効利用促進法に基づき、事業系パソコンについては製造及び輸入販売事業者に対して、小形二次電池（ニカド電池、ニッケル水素電池、リチウム二次電池、小形制御弁式鉛電池）については電池の製造及び輸入販売事業者並びに電池使用機器の製造及び輸入販売事業者に対して、平成13年4月1日から自主回収及び再資源化が義務づけられています。また、家庭系パソコンについても、平成15年10月から製造及び輸入販売事業者に対して自主回収及び再資源化が義務づけられました。

これらの製品に係る平成24年度の自主回収・再資源化の実施状況について公表します。

なお、各事業者等の自主回収及び再資源化の実施状況については、各事業者及び関係団体等より、ホームページ等を通じて公表されています。

1. パソコン（事業系と家庭系の合計）

（1）自主回収実績

平成24年度実績

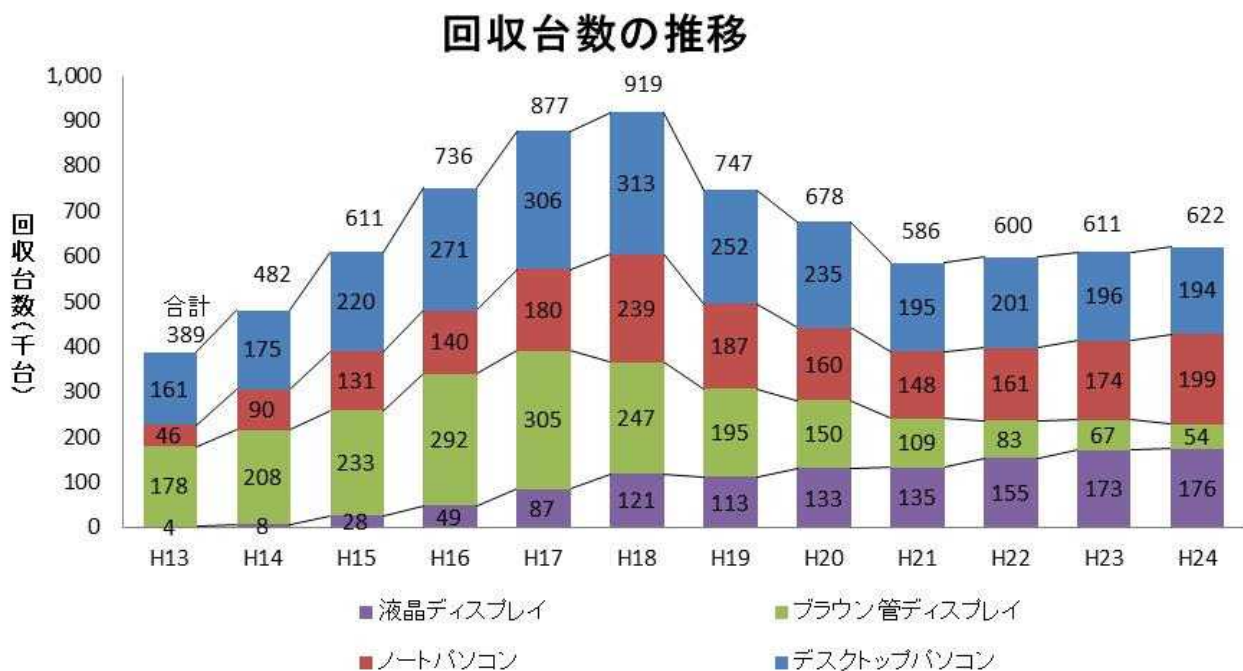
製品区分	回収重量(t)	回収台数(台)
デスクトップパソコン	2,066 (2,097)	193,836 (196,118)
ノートブックパソコン	646 (560)	199,186 (174,396)
ブラウン管式表示装置	887 (1,104)	53,859 (67,327)
液晶式表示装置	1,535 (1,415)	175,528 (172,840)
合 計	5,135 (5,176)	622,409 (610,681)

表中の上段は平成24年度実績、下段括弧書は平成23年度実績で、各事業者（自主回収及び再資源化の義務のある事業者のみ）の公表実績値を集計した。

本年度集計の平成24年度及び平成23年度の自主回収実績には製品リユースのための回収実績が含まれる。

自主回収実績、再資源化実績の表中の数字は四捨五入のため、合計等は必ずしも一致しない。

回収台数の推移



(2) 再資源化実績

平成24年度実績

製品区分	処理量(t)	処理台数(台)	再資源化量(t)	再資源化率(%)	法定目標(%)
デスクトップパソコン	1,875 (1,929)	174,889 (179,907)	1,459 (1,478)	77.8 (76.6)	50
ノートブックパソコン	580 (502)	181,854 (158,949)	344 (287)	59.4 (57.2)	20
ブラウン管式表示装置	887 (1,103)	53,859 (67,269)	635 (821)	71.6 (74.4)	55
液晶式表示装置	1,348 (1,257)	157,459 (156,331)	979 (902)	72.6 (71.8)	55
合計	4,690 (4,791)	568,061 (562,456)	3,417 (3,488)		

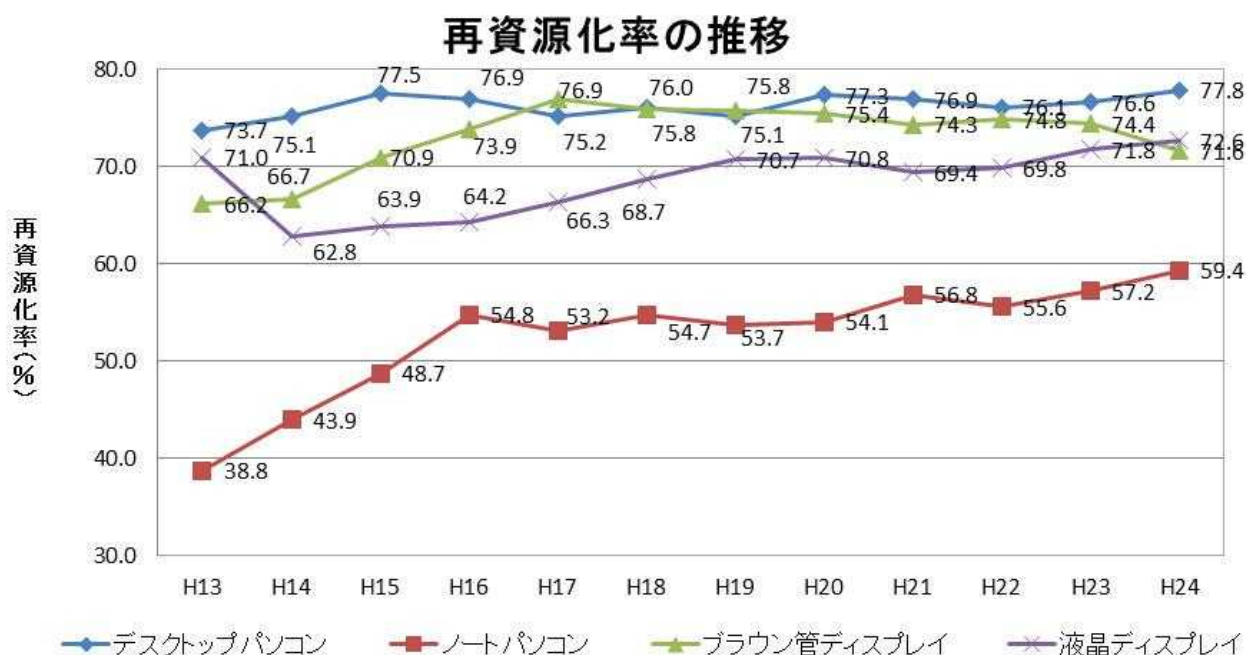
表中の上段は平成24年度実績、下段括弧書は平成23年度実績で、各事業者（自主回収及び再資源化の義務のある事業者のみ）の公表実績値を集計した。

本年度集計の平成24年度及び平成23年度の自主回収実績には製品リユースのための回収実績が含まれる。

再資源化実績の表中の数字は四捨五入のため、合計等は必ずしも一致しない。

再資源化とは再生部品及び再生資源として利用することをいう。

再資源化率の推移



1 - 1 . 事業系パソコン

(1) 自主回収実績

平成 2 4 年度実績

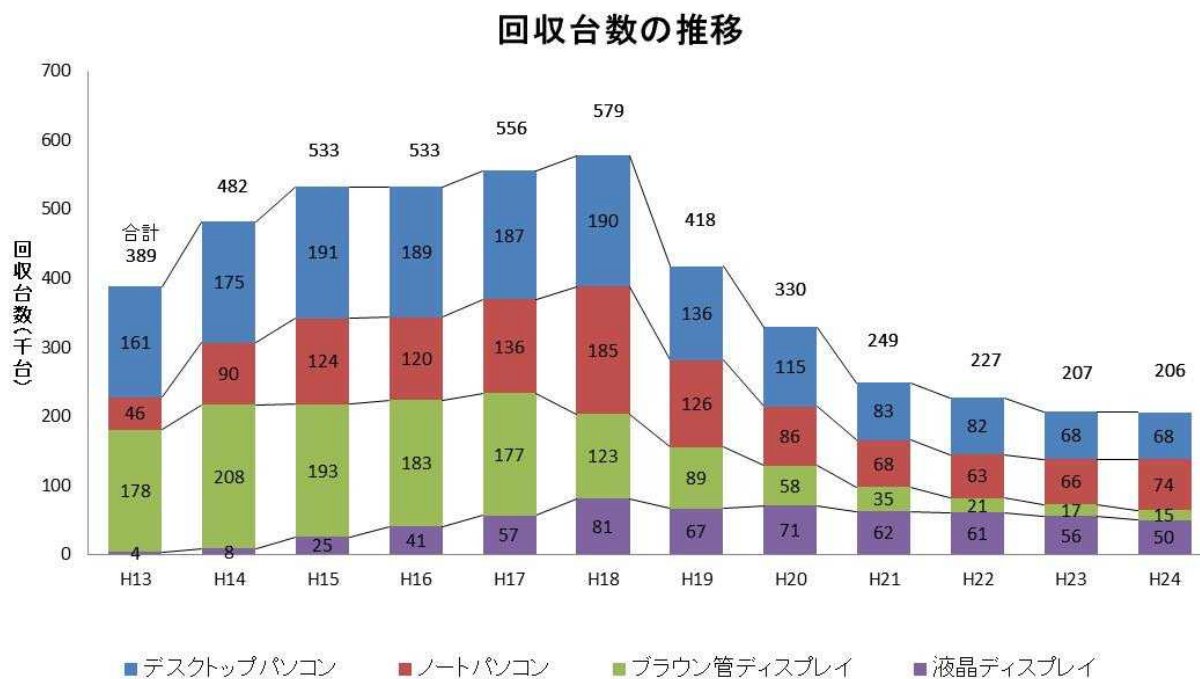
製品区分	回収重量(t)	回収台数(台)
デスクトップパソコン	720 (730)	68,052 (68,183)
ノートブックパソコン	235 (207)	73,566 (66,285)
ブラウン管式表示装置	235 (262)	14,756 (16,622)
液晶式表示装置	342 (345)	49,522 (55,538)
合 計	1,531 (1,544)	205,896 (206,628)

表中の上段は平成 2 4 年度実績、下段括弧書は平成 2 3 年度実績で、各事業者（自主回収及び再資源化の義務のある事業者のみ）の公表実績値を集計した。

本年度集計の平成 2 4 年度及び平成 2 3 年度の自主回収実績には製品リユースのための回収実績が含まれる。

自主回収実績、再資源化実績の表中の数字は四捨五入のため、合計等は必ずしも一致しない。

回収台数の推移



(2) 再資源化実績

製品区分	処理量(t)	処理台数(台)	再資源化量(t)
デスクトップパソコン	618 (647)	57,105 (59,472)	518 (536)
ノートブックパソコン	205 (183)	64,234 (58,338)	136 (118)
ブラウン管式表示装置	235 (261)	14,756 (16,564)	177 (208)
液晶式表示装置	261 (285)	40,204 (47,383)	202 (217)
合計	1,318 (1,376)	176,299 (181,757)	1,032 (1,078)

表中の上段は平成24年度実績、下段括弧書は平成23年度実績で、各事業者（自主回収及び再資源化の義務のある事業者のみ）の公表実績値を集計した。

本年度集計の平成24年度及び平成23年度の自主回収実績には製品リユースのための回収実績が含まれる。

自主回収実績、再資源化実績の表中の数字は四捨五入のため、合計等は必ずしも一致しない。再資源化とは再生部品及び再生資源として利用することをいう。

参考（一般社団法人パソコン3R推進協会集計値）

（１）自主回収実績

製品区分	回収重量(t)	回収台数(台)
デスクトップパソコン	1,492 (1,694)	150,555 (169,698)
ノートブックパソコン	426 (367)	135,165 (118,136)
ブラウン管式表示装置	300 (377)	19,260 (24,416)
液晶式表示装置	576 (611)	91,777 (102,826)
合 計	2,794 (3,049)	396,757 (415,076)

（２）再資源化実績

製品区分	処理量(t)	処理台数(台)	再資源化量(t)	再資源化率(%)	法定目標(%)
デスクトップパソコン	1,273 (1,442)	127,841 (144,035)	1,062 (1,168)	83.4 (81.0)	50
ノートブックパソコン	270 (249)	83,852 (78,624)	179 (162)	66.1 (64.9)	20
ブラウン管式表示装置	300 (372)	19,260 (24,048)	223 (285)	74.1 (76.5)	55
液晶式表示装置	434 (456)	72,361 (78,767)	343 (358)	78.9 (78.7)	55
合 計	2,277 (2,519)	303,314 (325,474)	1,806 (1,973)		

表中の上段は平成24年度実績で、下段括弧書は平成23年度実績である。なお、平成24年度実績は、一般社団法人パソコン3R推進協会会員等54社による義務者不存在パソコンを含む回収実績の集計値である。

本年度集計の平成24年度及び平成23年度の自主回収実績には製品リユースのための回収実績が含まれる。

自主回収実績、再資源化実績の表中の数字は四捨五入のため、合計等は必ずしも一致しない。

再資源化とは再生部品及び再生資源として利用することをいう。

1 - 2 . 家庭系パソコン

(1) 自主回収実績

平成 2 4 年度実績

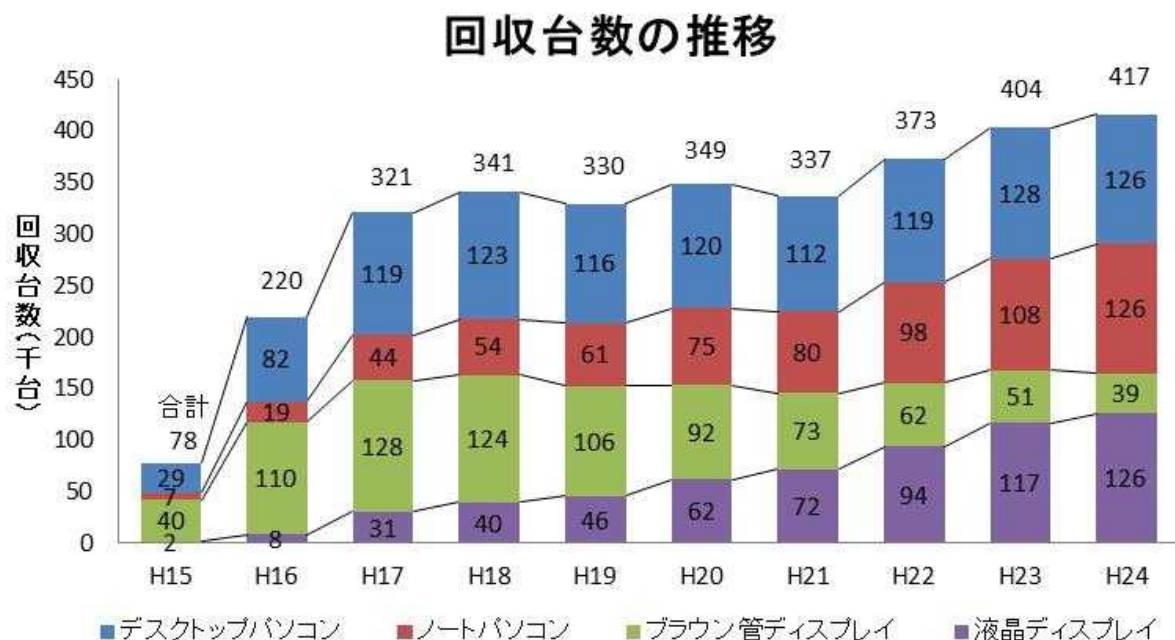
製品区分	回収重量(t)	回収台数(台)
デスクトップパソコン	1,346 (1,366)	125,784 (127,935)
ノートブックパソコン	412 (353)	125,620 (108,111)
ブラウン管式表示装置	653 (843)	39,103 (50,705)
液晶式表示装置	1,193 (1,070)	126,006 (117,302)
合 計	3,604 (3,632)	416,513 (404,053)

表中の上段は平成 2 4 年度実績、下段括弧書は平成 2 3 年度実績で、各事業者（自主回収及び再資源化の義務のある事業者のみ）の公表実績値を集計した。

本年度集計の平成 2 4 年度及び平成 2 3 年度の自主回収実績には製品リユースのための回収実績が含まれる。

自主回収実績、再資源化実績の表中の数字は四捨五入のため、合計等は必ずしも一致しない。

回収台数の推移



※平成15年度は回収が義務化された平成15年10月以降6カ月分の数字。

(2) 再資源化実績

製品区分	処理量(t)	処理台数(台)	再資源化量(t)
デスクトップパソコン	1,257 (1,283)	117,784 (120,435)	941 (942)
ノートブックパソコン	375 (319)	117,620 (100,611)	209 (169)
ブラウン管式表示装置	653 (843)	39,103 (50,705)	458 (613)
液晶式表示装置	1,088 (972)	117,255 (108,948)	777 (685)
合計	3,372 (3,416)	391,762 (380,699)	2,385 (2,409)

表中の上段は平成 2 4 年度実績、下段括弧書は平成 2 3 年度実績で、各事業者（自主回収及び再資源化の義務のある事業者のみ）の公表実績値を集計した。

本年度集計の平成 2 4 年度及び平成 2 3 年度の自主回収実績には製品リユースのための回収実績が含まれる。

再資源化実績の表中の数字は四捨五入のため、合計等は必ずしも一致しない。

再資源化とは再生部品及び再生資源として利用することをいう。

参考（一般社団法人パソコン3R推進協会集計）

（１）自主回収実績

製品区分	回収重量(t)	回収台数(台)
デスクトップパソコン	1,439 (1,483)	135,690 (138,827)
ノートブックパソコン	439 (382)	135,387 (118,021)
ブラウン管式表示装置	668 (876)	40,119 (52,832)
液晶式表示装置	1,236 (1,116)	134,895 (126,762)
合計	3,783 (3,857)	446,091 (436,442)

（２）再資源化実績

製品区分	処理量(t)	処理台数(台)	再資源化量(t)	再資源化率(%)	法定目標(%)
デスクトップパソコン	1,349 (1,399)	127,690 (131,327)	1,018 (1,036)	75.4 (74.1)	50
ノートブックパソコン	403 (347)	127,387 (110,521)	226 (186)	56.2 (53.6)	20
ブラウン乾式表示装置	668 (876)	40,099 (52,832)	470 (640)	70.4 (73.0)	55
液晶式表示装置	1,131 (1,018)	126,144 (118,408)	809 (720)	71.5 (70.8)	55
合計	3,551 (3,640)	421,320 (413,088)	2,523 (2,582)		

表中の上段は平成24年度実績で、下段括弧書は平成23年度実績である。なお、平成24年度実績は、一般社団法人パソコン3R推進協会会員等54社による義務者不存在パソコンを含む回収実績の集計値である。

本年度集計の平成24年度及び平成23年度の自主回収実績には製品リユースのための回収実績が含まれる。

回収実績、再資源化率の表中の数字は四捨五入のため、合計等は必ずしも一致しない。

再資源化とは再生部品及び再生資源として利用することをいう。

2 . 小形二次電池

(1) 自主回収実績

平成 2 4 年度実績

製品区分	重量(t)
ニカド電池	849 (895)
ニッケル水素電池	220 (223)
リチウム二次電池	336 (365)
小形制御弁式鉛蓄電池	1,504 (1,570)
合計	2,908 (3,054)

表中の上段は平成 2 4 年度実績、下段括弧書は平成 2 3 年度実績で、一般社団法人 J B R C、一般社団法人電池工業会及び社団法人電気通信事業者協会・一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会（モバイル・リサイクル・ネットワーク）の公表実績値を集計した。

回収重量の推移



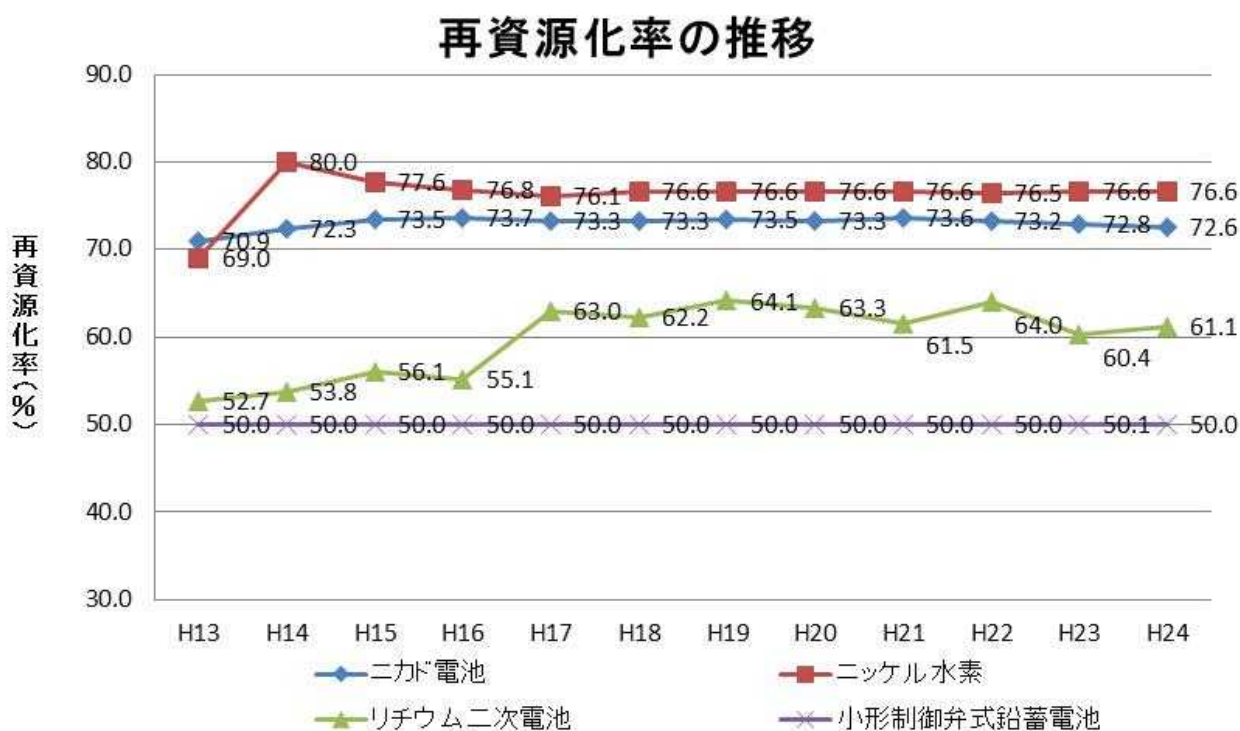
(2) 再資源化実績

平成24年度実績

製品区分	処理量(t)	再資源化量(t)	再資源化率(%)	法定目標(%)
ニカド電池	764 (806)	555 (587)	72.6 (72.8)	60
ニッケル水素電池	198 (201)	151 (154)	76.6 (76.6)	55
リチウム二次電池	312 (339)	191 (205)	61.1 (60.4)	30
小形制御弁式鉛蓄電池	1,504 (1,570)	752 (786)	50.0 (50.0)	50
合計	2,777 (2,915)	1,649 (1,730)		

表中の上段は平成24年度実績、下段括弧書は平成23年度実績で、一般社団法人JBR C、一般社団法人電池工業会及び社団法人電気通信事業者協会・一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会（モバイル・リサイクル・ネットワーク）の公表実績値を集計した。

再資源化率の推移



(参考) 各事業者団体ホームページへのリンク

- | | |
|----------------------|---|
| 一般社団法人パソコン3R推進協会 | http://www.pc3r.jp/ |
| 一般社団法人JBR C | http://www.jbrc.com/ |
| 一般社団法人電池工業会 | http://www.baj.or.jp/ |
| 社団法人電気通信事業者協会 | http://www.tca.or.jp/ |
| 一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会 | http://www.ciaj.or.jp/ |